

## <参考文献>

- OECD (1995) "Annex A: Factors Affecting Health Spending: A Cross-Country Econometric Analysis" *Health Policy Studies No. 7, New Directions in Health Care Policy*, Paris
- 吉田正己 (2001) 「医療保険制度が医療支出に与える影響について—OECD パネルデータによる実証分析」『住生総研レポート』 5月号
- 嶋田忠彦 (1999) 「日本の医療改革について」『医療と社会』 Vol.9, No.3
- 広井良典 (1994) 『医療の経済学』 日本経済新聞社
- 妹尾芳彦 (1985) 「医療費抑制策の経済分析」 社会保障研究所編『医療システム論』 東京大学出版会
- 前田信雄 (1978) 「給付率等の変更による医療費への波及に関する研究」『季刊社会保障研究』 Vol.14, No.2
- 漆博雄 「老人医療の有料化と公的介護保険」 八代尚弘編『高齢化社会の生活保障システム』 東京大学出版会
- 小椋正立 (1990) 「医療需要の価格弾力性に関する予備的考察」 金森久雄・伊部英男編『高齢化社会の経済学』 東京大学出版会
- 西村周三 (1991) 「社会保障の新しい財源政策—医療費財源を中心に」『季刊社会保障研究』 Vol.27, No.1
- 澤野孝一郎 (2000) 「高齢者医療における自己負担の役割：定額自己負担制と定率自己負担制」『医療と社会』 Vol.10, No.2
- 澤野孝一郎 (2001) 「外来医療サービスにおける医療供給の役割—昭和 59 年と平成 9 年改定の違いとその理由」『大阪大学経済学』 Vol.50, No.4
- 吉田あつし・伊藤正一 (2000) 「健康保険制度の改正が受診行動に与えた影響」『医療経済研究』 Vol.7
- 嶋田忠彦・山田武・山本克也・泉田信行・今野広紀 (2000) 「縦覧点検データによる医療需要の決定要因の分析」『経済研究』 Vol.51, No.4
- 井伊雅子・大日康史 (1999a) 「軽医療における需要の価格弾力性の測定—疾病及び症状を考慮した推定」『医療経済研究』 Vol.6
- 井伊雅子・大日康史 (1999b) 「風邪における医療サービスと大衆医薬の代替性に関する研究：独自アンケートに基づく分析」『医療と社会』 Vol.9, No.3
- 井伊雅子・大日康史 (2002) 『医療サービス需要の経済分析』 日本経済新聞社
- 鈴木亘・大日康史 (2000) 「医療需要行動の Conjoint Analysis」『医療と社会』 Vol.10, No.1
- 上野智明 (1999a) 「薬剤二重負担導入が医療費に与えた影響」 日医総研ワーキングペーパー No. 15
- 上野智明 (1999b) 「老人の薬剤二重負担廃止による影響」 日医総研ワーキングペーパー No. 26
- 山田武 (1998) 「レセプトベースのデータを使用した医療サービスの需要関数の推定」『医療費の自己負担増に伴う医療需要の価格弾力性に関する基礎的研究報告書』 医療経済研究機構
- 池田哲也ほか (2000) 「医療保険制度改定にともなう院外処方への動向と価格弾力性」『病院管

- 理』vol.37supplement、第38回日本病院管理学会学術総会演題抄録集
- 高木安雄(1993)「老人病院における介護力強化と費用・マンパワーの変化」季刊社会保障研究 Vol.28, No.4
- 日本製薬工業協会(1996)『定額支払い制度に関する研究』
- ?厚生省(1994)「定額制導入の薬剤費への影響」平成2年11月末調査
- ?大塚宣夫(????)『社会保険旬報』No.1787
- ?高木安雄(1992)「老人医療における定額払い制度の導入とその影響」『医療と社会』Vol.2
- 川淵孝一(1996)「入院医療管理料制度の薬剤に及ぼした影響に関する研究」『医療と社会』Vol.6, No.3
- 赤木博文・稲垣秀夫・鎌田繁則・森徹(1999)「医療機関の意思決定行動と包括支払制度下での医療サービス水準」『医療と社会』Vol.9, No.3
- 医療経済研究機構(1998)『自然増に関する研究報告書』
- 医療経済研究機構(1997)『自然増に関する研究報告書』
- 医療経済研究機構(1996)『政府管掌健康保険の医療費動向に関する調査研究』
- 医療経済研究機構(1994)『政府管掌健康保険の医療費動向に関する調査研究』
- 小椋正立・角田保(2000)「医療における自然増と価格政策—生化学的検査Iの分析—」季刊社会保障研究 Vol.36, No.3
- 河合啓希・丸山士行(2000)「包括払制導入が医療費と診療密度に及ぼした影響に関する分析—老人慢性疾患外来ならびに乳幼児外来に関して—」『医療経済研究』Vol.7
- 池上直己(2001)「診療報酬改定と包括化」『月刊保険診療』vol.56, No.3
- 大道久(1993)「医療における病床数と医療施設体系」季刊社会保障研究 Vol.28, No.4
- 油谷由美子(2002)「高齢者の長期療養について」『Monthly IHEP』2月号
- 川越雅弘(1998)「日本の平均在院日数は本当に長いのか?」日医総研ワーキングペーパー 1998年度
- 李 忻(2000)「平成12年度診療報酬改定が急性期、慢性期医療に及ぼした影響度分析」第38回日本病院管理学会遠大抄録集『病院管理』vol.37supplement
- 上野智明・川越雅弘(2000)「介護保険制度導入後の医療費動向」日本医師会編『国民医療年間』平成12年度版、春秋社
- 川越雅弘・阿部崇・前田由美子・森宏一郎(2001)「介護保険制度施行1年の総括—医療面からの評価と課題—」日本医師会総合政策研究機構報告書第30号
- 田村誠・福田敬(2002)「医療機能分化政策の形成的評価」『社会保険旬報』No.2121
- 謝 中孚・高橋泰・開原成充(1997)「紹介・非紹介患者の医療資源消費の比較—特定機能病院となった東大病院における患者特性に関する研究」『病院管理』Vol.34, No.3
- 謝 中孚・高橋泰・開原成充(1998)「主要疾患を対象とした紹介・非紹介患者の医療資源消費量の比較—東大病院における疾患別の医療消費に関する研究」『病院管理』Vol.35, No.4
- 高木安雄(1996)「医療計画による医療供給体制の変化と問題点」『季刊社会保障研究』Vol.31, No.4
- 西村周三(1987)「医療の経済分析」東洋経済新報社

- 鈴木玲子 (1998) 「医療資源密度と受診・診療行動との関係」 郡司篤晃編著『老人医療費の研究』丸善プラネット
- 川淵孝一 (2000) 「日本の医薬分業は本当に患者のためになっているのか」 日医総研ワーキングペーパー No. 27
- 松本邦愛、長谷川敏彦 (1999) 「所得階級でみた日本の健康の公平性の分析」 第36回日本病院管理学会遠大抄録集『病院管理』vol.36 supplement